

2027年極限宇宙の旅

2027: An extreme space odyssey

本シンポジウムでは、「極限宇宙」をキーワードに、ブラックホール、宇宙線、宇宙の大規模構造、宇宙探査を横断的に取り上げます。ブラックホールを観測する技術、地球に残された宇宙からの痕跡、見えない宇宙を探る観測・解析、そして人類が宇宙へ向かう探査技術を通して、次世代の宇宙科学・理工学の可能性を考えます。専門分野を越えて「宇宙をどのように見るか、読むか、測るか、旅するか」を共有する場とします。

2027

3/30 (火)

9:45~16:15

会場：
名古屋大学 東山キャンパス
坂田・平田ホール



詳細・お申し込みは、
高等研究院WEBサイトへ

参加登録:先着300名

ブラックホールから 宇宙探査へ

program

- 09:15 〈受付開始〉
- 09:45 〈開会挨拶〉 山中 宏二 教授(名古屋大学副総長)
- 09:50 〈趣旨説明〉 白水 徹也 教授(名古屋大学高等研究院副院長)
- 10:00 〈講演①〉 本間希樹 教授(国立天文台 水沢VLBI観測所)
「人類が初めて見たブラックホールの姿」
- 11:00 〈講演②〉 三宅美沙 准教授(名古屋大学宇宙地球環境研究所)
「樹木と氷に刻まれた太陽活動の痕跡」
- 12:00 〈休憩〉
- 13:15 〈講演③〉 宮武広直 准教授(名古屋大学素粒子宇宙起源研究所)
「銀河の歪みで暗黒物質を見る」
- 14:15 〈講演④〉 津田雄一 教授(JAXA 宇宙科学研究所)
「人類の活動圏を広げる -太陽系探査への挑戦-」
- 15:15 〈パネルディスカッション〉
人類はブラックホールにどこまで近づけるか
-極限宇宙を「見る・読む・測る・旅する」-
モデレーター:白水 徹也 教授(名古屋大学高等研究院副院長)
- 16:10 〈閉会挨拶〉 榊原 均 教授(名古屋大学高等研究院院長)

講演①

本間希樹 教授

国立天文台
水沢 VLBI 観測所



講演②

三宅美沙 准教授

名古屋大学
宇宙地球環境研究所



講演③

宮武広直 准教授

名古屋大学
素粒子宇宙起源研究所



講演④

津田雄一 教授

JAXA
宇宙科学研究所

